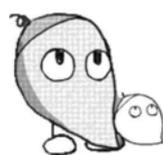
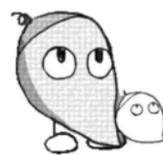


とんがらし通信

天気の良い日は
お散歩しよう♪



No.234



～主な内容～

- 施設長コラム ・ 研修報告
- 活動報告（長岡屋十、あじさい祭り、動物園、瑞宝太鼓、さくらんぼ狩り）
- Close-up! ・ 内部研修
- 職員コラム ほか

仙台つどいの家編集室
発行責任者 山口 収
発行日 2018年7月25日
〒983-0836 仙台市宮城野区幸町3丁目12-16
Tel 022(293)3751 Fax 022(293)3752
E-mail sendai@tsudoinoie.or.jp
ホームページ <http://www.tsudoinoie.or.jp>



『感情労働』というけれど の巻

このたびの、西日本を中心とする豪雨災害で被災された方に、心よりお見舞い申し上げます。今もなお避難先で不自由な生活を送られている方々が、一日も早く日常を取り戻せるよう、衷心よりお祈りいたします。

入所者19名が犠牲になった津久井やまゆり園の事件から2年が経過します。やまゆり園では新たな施設を建設するため、居住棟など一部の建物の取り壊し作業が進んでいるようです。事件後横浜拘置支所に拘置されている植松被告は、取り調べに対して『今回の事件に関しては、突然のお別れをさせるようになってしまっただけで、遺族の方には心から謝罪したいと思います』と発言する一方、現在も『コミュニケーションのとれない重度障害者は不幸を生むことしかできない』という従来の主張を繰り返して犠牲になった方々への謝罪の言葉は聞かれないといいます。

この事件が報道されてから、SNS上には、多くの意見が寄せられています。『殺されていい命などあるわけではない』『犯人の思想は現代社会を映しているようで非常に怖い』『何も生産しない者は社会のお荷物だ』『私も加害者の思考に似ているかもしれない』…。これらは人の考え方の幅広さを浮き彫りにしています。育った環境や影響を与える周囲の状況、その時々的心情…。人はそれぞれに思考や主義・信条を持っているものであるし、それらが統一・規制される閉ざされた社会はそれは怖いものだと思います。しかし、『匿名』といった空間の中でしか語られない偏った思考が無秩序に流される環境もまた、非常に恐怖を覚えます。

NHKのホームページ内の『19のいのち—障害者殺傷事件—』というページに投稿されている多くの意見に考えさせられました。意見投稿される方はしょうがい当事者・親御さん・きょうだい・医療関係者・教員・一般の方…等多岐に亘ります。事件を受けて当事者や親御さんは恐怖や怒り、悲しみや絶望の感情を投稿にぶつけます。医療関係者は犯人の行動自体は否定しつつも、必ずしも望まれた生ばかりではないと言います。それぞれにその立場に応じて、この事件のことやその背景にあるものと真剣に向き合ってコメントしています。中でも『しょうがい福祉事業所の職員』からの投稿は目を引きます。『こんな事件はあり得ない・あってはならない』と思いつつも、自身も日々の利用者との関わりの中で、『悩みながら、傷つきながら、時には危うい精神状態の中で』支援にあたっている状況が伝わってきました。『きれいごとでは終わらせられない』支援の現場の過酷さやしんどさが描かれています。。。

私たちの仕事は『感情労働』だといわれます。言葉でのコミュニケーションが困難だったり、パニックを起こして掴みかかられたり、顔に唾をかけられたり…。そういった状況の中でも常に自身の感情をコントロールすることが求められ、我慢したり耐えたり、無理に明るく振る舞ったりしなければならない業種なのだそうです。確かにそうした側面もないとは言えませんが、何も『イチからジュウまで』利用者さんの言うまま・されるままに従っているわけでは決してありません。私たちは『双方向の関係性』を大前提として毎日を利用者さんと過ごしています。その関係性の中では時に向き合ったり、寄り添ったり、離れてみたり。。さまざまな関わりのカタチが存在するのです。職員たちを見ていると、自己の感情のコントロールやその場の我慢よりも、純粹にその時々利用者さんの『想い』を知りたい気持ちが勝っているように思うのです。『感情労働』も捉え方を変えると、もっとポジティブに考えられるのではないのでしょうか。

仙台つどいの家の利用者さんは、やまゆり園と同じく重いしょうがいのある方々です。コミュニケーションも非常に困難な方が多いです。そんな中で職員は『今日も利用者さんの想いを叶えたい』『利用者さんの自己実現を支えたい』と願い、寄り添って街に出ます。利用者さんは地域の人たちと交わりながらキラリと個性を光らせ、一人ひとりが存在感を増していきます。職員は、支えるつもりがいつしか支えられているのは自分の方だと気づくのかもしれません。理屈ではなく、『感情労働』とは異なる利用者さんとの関わりの中で生まれる『職員の自己実現』がそこにはあるように思うのです。
(管理者 山口 収)

* 『19のいのち』(NHKホームページ内) <https://www.nhk.or.jp/d-navi/19inochi/>

「武蔵野」現場体験 研修報告

7月上旬、東京都武蔵野市にある社会福祉法人武蔵野にて3日間の研修をさせていただきました。生活介護事業所は3つあり、今回の研修では「デイセンターふれあい」という主に重症心身障害や医療的ケアが必要な方々が通っている事業所で一緒に活動しました。

今回の研修で印象に残ったことは『利用者の社会参加』『活動は誰が行うのか』ということです。一日目に「地域交流」という作業品を委託販売しているお店へ行き新たな作業品を置いてもらえないかの交渉、在庫のチェック、地域のお店でチラシ・作業品を置いてもらえる所を探す活動と一緒に同行しました。吉祥寺の『マジエルカ』というお店には全国の心や身体に障害を持った方が作った作品が売られており、その中でもとても目立つ位置にふれあいの方々の方が作った商品が置いてありました。Aさんが自分たちの作った商品を見て「これ、作ったの」と嬉しそうに話してくれました。自分たちの作った物が実際に地域の方の目に触れ、評価されることで自分たちの作業にも自信が持てると同時に利用者について知ってもらう機会になり『社会参加』につながるのだと感じました。私達の事業所も作業品ではなくても利用者が創作活動で作った作品を地域の方々の目に触れる機会を更に作っていくことで、地域の理解や障がいについて発信するきっかけになる。支援者として地域との繋がりを更に意識し、地域へ出向いていく活動を積極的に行っていきたいと改めて思いました。二日目に「フリーアート」という作業品を作る活動に参加しました。既存の靴とTシャツに自助具を用いて模様を付けていく作業で、私は靴にペイントするグループと一緒に活動させていただきました。自助具は元支援学校の教諭だった方が作ってくれたもので、そのクオリティーの高さに驚きました。利用者の方々は自助具の仕組みや自分たちが行っていることの意味をしっかりと理解し、活動に取り組んでいるように感じました。職員の方から「始めは作業が苦手で何をすることも手を離してしまう方もいた」「作業活動に繰り返し参加し、出来たら一緒に喜ぶということを繰り返すことで現在では意欲的に参加している」という話を伺いました。紐を引っ張ると絵の具が垂れて下の靴に色が付くという単純な仕組みでも、利用者の方から見れば仕組みや何のために行うのか分からないかもしれない。しかし、継続的に取り組むことで「引っ張るという動作が出来るようになる」「周りから評価される」「嬉しい、自信がつく」「また頑張ろう、もっとやりたい」という活動への意欲や『今感じているまま表現していいんだ』という安心に繋がるのだと感じました。活動は利用者が行うものであり、あくまで職員は利用者が主体的に活動に参加できるようサポートする。その意識が日々の支援の中で徐々に薄れてきてしまっていたように感じます。また、利用者一人ひとりの物事を習得するスピードは違います。どうしても早く結果を求めようとしたり、どのくらい継続すればよいのか、本当に出来るようになるのだろうかと不安になってしまうことがあります。長い目で見て諦めずに丁寧に支援を続けていくことが相手の生活の幅を広げ、『生きづらさ』を無くしていく上で大切なことなのだと改めて思いました。

今回の研修で学んだことを活かし、利用者の生活がより豊かなものになるよう相手と丁寧に向き合っていきたいと思えます。お忙しい中、研修を受け入れていただいた社会福祉法人武蔵野の皆さま、ありがとうございました。

(記：今川)

ふらす

長岡屋 + リサイタル

6月12日に『長岡屋+』のリサイタルが行われました。『長岡屋+』とは、長岡美空さんのお母さんとお友達で結成されたグループです。なんとこのグループ、結成2週間!!グループ名は1週間前に決まったそうです。リズムのお部屋での練習の様子を、美空さんと一緒に覗きに行ったのですが、あまりにお母さん達が真剣に練習していたので、声をかけられず、そっとドアを閉じたのでした…(*^^*)そして、

いよいよ当日を迎え、音楽を交えた読み読みのリサイタルをして頂きました。「いっきょくいきまあす」の絵本にピアノの伴奏を合わせ、演歌や童謡の楽しいメロデーが続きます。斎健二さんは、「どうにも止まらない」の曲で、車椅子を動かすとニコニコ笑顔でした♪

最後は、大村明日美さんのリクエストで「気球に乗ってどこまでも」をみんなで歌いました。つどいの家・コペルの方々も一緒に盛り上がりました。とっても楽しいリサイタルで、利用者の皆さんも大満足。『長岡屋+』の皆さん、ありがとうございました。今後もリサイタルやコラボ企画、期待しております。どうぞよろしく願いいたします☆

(記:佐藤唯)

しばたあじさいまつりへ♪

6月21日にめいふるグループで船岡城址公園で行われているあじさいまつりに行ってきました。もともと佐藤咲子さんの発案で「夏のお花見をしましょう!」と話があり、あじさいまつりについて知りました。『しばたあじさいまつり』では毎年約2600株のあじさいが船岡城址公園を彩ります。



スロープカーを使って上にあがっていくたびに紫や青、白のあじさいの花が増え、外の景色を眺めながら「きれいだね」と話し頂上に着きました。頂上からは柴田町全体を一望することができ、田中七海さんは頂上から景色を見ながら「サイコー!」と叫んでいました。梅雨の中休みということもあり、この日の最高気温は28℃と暑かったのですが、頂上は気持ちのいい風がふいていて、みんなでゆっくりと休んできました。最後に満開のあじさいと一緒に写真を撮って帰ってきました(^_^)♪

夏のお花見、きれいなあじさいがたくさん咲いていて大成功でした。次は何のお花を見に行こうかな♪

(記:高野)



八木山動物園外出



「シャンシャンに会わせてよ!」、突然の一言から品田さんの外出計画が始まりました。宮城には残念ながらジャイアントパンダはいませんが、市内にある八木山動物園にいてみるかどうか聞くと「高野さん連れて行って! 庄子さんも付いて来ていいよ!」と、違うグループの女性職員の名前を挙げました。そこで話をしに行きましようとして品田さんから各職員と管理者に話をしてもらい出掛けることになりました。



当日は天候にも恵まれ園内をのんびりと散策。「高野さん車椅子押して〜!」、昼食時にはマップを見つつ「ライオンに食べられたら」など、表情豊かに会話を弾ませて2人でテーブルに着き、まるでデート気分のような時間を楽しみました。身体のかな品田さんの介助には男性職員が必要などもありましたが、グループの枠を超えて品田さんの思いが届き活動へ繋がったことは、品田さんにとってかけがえのない時間になったと思います。

次は、シャンシャンに会いに上野動物園に行きましょうね〜! (記: 鈴木)

☆迫力満点☆

〜長崎瑞宝チャリティーコンサート〜

6月6日に楽楽楽ホールでおこなわれた「長崎瑞宝太鼓チャリティーコンサート」にめいぶる、けやき、もみじのメンバーで行って来ました。

いつもは日中に活動をしているメンバーですが、この日は18:30~のコンサート。はじめて夜に外出する方もいました。長崎瑞宝太鼓はしょうがいのある方々の余暇サークルとして発足され、「プロになりたい」とクラブ員からの希望の声があがり、その夢を叶えるため結成。東日本大震災での支援活動など社会貢献活動も行う団体です。太鼓をたたくことが、楽しい! 嬉しい! の感情が演者の全身からあふれ、とても魅了されました。その迫力ある演奏を聞いて、ピョンピョン跳びはねて楽しいと表現されている方、ステージをじっと見つめて聞き入る方、そしてもみじメンバーの永坂葵さんは「私も演奏したい」と言わんばかりに手と脚をステージに向かって伸ばしていました。太鼓の音を全身で感じようと集中している横顔が、凛としていてとても素敵でした。落合道代さんはいつも手にしている絵本を太鼓に見立てて、一緒にたたいて楽しんでいました。

演奏が素晴らしかったのはもちろんのこと、日中活動とは違う利用者さんの表情が見られ、とても良い時間を過ごすことができました。長崎瑞宝太鼓のみなさんのファンになった私は、いつの日かそのパワフルな演奏を仙台つどいの家で聞くことができたらいいなあと思いながら、ホールを後にしました。(記: 遠藤)

山形 De さくらんぼ狩り~!!

6月下旬、山形県の寒河江にさくらんぼ狩りに行ってきました。くるみグループの奥津欣也さんのお父さんがさくらんぼの木オーナーになり、「つどいのみんなで食べて欲しい」とのご厚意で今回の外出となりました。さくらんぼの木は10メートル程の高さです。真っ赤で美味しそうなさくらんぼが沢山なっていました。梯子を使って登らないといけない場所にもなっていました、「お母さんへのお土産にしたい」「さくらんぼジャムにしたい」と言いながら皆さん頑張って収穫していきます。1時間程で平たい段ボール20箱分の収穫になりました。

次の日早速ジャムを作ったり、給食の時間に出してもらって、皆さん「甘くておいしい」と言いながら笑顔で食べていました。また来年もさくらんぼ狩りに行きたいな~!!

(記：松原)



「Close-up!」

さくらい けんじ
櫻井 賢治さん (もみじグループ)



ご存じの方もいるかもしれませんが、櫻井賢治さんと言えば、「コーヒーが大好き!」な方です。大好きなコーヒーを見たり、香りがすると、目がキラキラ☆と輝いて、しっかり美味しそうに飲み喫茶店でコーヒー後にはコーヒーはそんな賢治さん



好む飲み物があるんですよ! 先日、外出活へに行った時に、一緒に行った支援員が「賢治さん、今日は暑いからコー

りと自分でコップを持てます(^o^) 外出先でも、を飲んだり、お昼の食事の欠かせません(^-^)

も、実はコーヒー以外にも動で幸町のお店にお昼を食



治さん、今日は暑いからコー

いしてみると、「最近、コーラは飲んでないかも」との話。賢治さんと言えば「コーヒー」という印象が強いのですが、コーヒー以外にも好む飲み物もあることを改めて知ることが出来ました。これから暑くなる時期になって来たので炭酸系の飲み物が美味しくなります。この夏も、コーヒーもいいけれど、他の美味しい飲み物を賢治さんと一緒に楽しみたいと思います。「賢治さん! 美味しい飲み物一緒に探しましょうね♡」

(記：佐藤和)

内部研修 「自分達の活動を振り返ろう！」

6月21日に内部研修を行いました。今回は「自分達の活動を振り返ろう！」と題して日頃自分たちが行っている活動を改めて話す機会を設けました。

事前にグループ間の交換研修を行い、3グループに分かれて話し合いを行ないました。「自分たちの活動の振り返り」から始まり、「他のグループの活動の中で良かった点や改善点」、「気をつけている事や困っていること・悩んでいること」など、普段なかなか話す機会のなかったことを話し合いました。

各グループ共に外出活動では利用者さんそれぞれのニーズに合わせて出掛けることが出来ている一方で、室内活動では『パターン化』や『事前の準備不足』等改善が必要な点が多くあがりました。

また、事前に行なった交換研修をもとに、他グループの活動の振り返りも行なってみましたが、普段抱えている活動での悩みなど声に出して話すことにより、活動一つ一つの改善点等に改めて気づくことが出来ました。日々、利用者一人ひとりの様子や状況について振り返る機会はあるものの、活動そのものについての振り返りをするという事はあまり無かったため、日中活動のあり方や意義について改めて意識する良い機会となりました。そして、定期的にこのように話し合うことが必要なのだと思いました。
(記：志藤)

職員コラム

今回は・・・けやきグループの

たか **はし** **あん** **な** **奈** **さん** です！

「趣味は野球観戦です。」こう自己紹介すると、以前は「女子で野球観戦?!」と驚かれていましたが、今では野球女子という言葉があるように、驚かれることも少なくなりました。両親の影響もあり、小さなころから野球観戦が当たり前で、初めてのプロ野球観戦は3歳頃。当時の宮城球場でヤクルト戦を家族で観戦しました。知っている選手が1人しかおらず、どの選手が出てきても「ふるたー！」と応援したのを覚えています。また、小学校中学年頃、母と錦町公園近くのホテルを自転車で通りがかった際にヤクルト選手たちが乗っているバスを見かけました。野村監督時代で、高津選手や石井一久選手などスター選手ばかり。母に「すごい選手だから！」と言われて、伊藤智仁選手と握手しました。偉大さを知った今、握手できたことに母に感謝です。今では、すっかり楽天ファンになりました。日本一になった試合は何回観ても号泣してしまいます…。

野球だけでなくサッカー観戦も興奮してしまいます。サッカーW杯は寝不足になりながらも、最後の最後まで日本代表の試合に感動しました。日韓W杯当時は中学生。地元住民枠でチケットが当たり、スウェーデン対アルゼンチン戦を家族で観に行きました。学校を早退しましたが、先生方に快く送り出され、羨ましがられたぐらい貴重な体験でした。

感動と興奮を与えてくれるスポーツ観戦。今年は、楽天のクライマックスシリーズ進出を目標に諦めずに応援し続けたいと思います！



スケジュール schedule

- 8月** 2日(木) 音楽療法①・生け花①
 4日(土) 夏まつり
 6日(月) 給食提供お休み
 8日(木) 歯磨き指導 10:30~
 10日(金) チーフ会議
 13日(月)~14日(火) 夏季休暇
 15日(水)~17日(金) 給食提供お休み
 16日(木) 音楽療法②
 17日(金) 職員会議
 20日(月) 施設懇談会
 23日(木) 生け花②
 28日(火) ケース会議 13:30 降所
- 9月** 1日(土) 休日開館日(親子クッキング)
 6日(木) 音楽療法①
 8日(土) 休日開館日(けやき)
 12日(水) チーフ会議
 13日(木) 保護者会窓ふき
 15日(土) 休日開館日(さんしょ)
 17日(月) 休館日(敬老の日)
 20日(木) 施設懇談会、音楽療法②
 24日(月) 休館日(振替休日)
 みやぎアピール大行動 2018
 26日(木) 内部研修②
 27日(金) ケース会議 13:30 降所

ご協力ありがとうございます

ボランティアとして協力して頂いた皆様

(5月15日~7月13日まで)

吉田さん、土井さん、京子さん、千田さん、小野寺さん
大友さん

見学・来訪者など

生け花(濱谷さん)、音楽療法(向井田さん・菊池さん)、アロマゆるっと、NPO法人グレープ Grapes(松澤さん)、明成高校(高橋先生)、ワンステップ実習(柘さん)、ぼけっとの会、福祉協会日中活動支援部会交換研修(堀山さん、朝熊さん、千葉さん、武山さん、阿部さん、熊谷さん)、気仙沼洗心会、小松島支援学校(保護者さん6名見学)、るばーと(5名見学)、アーチル定期訪問(影山さん、後藤さん)、長岡屋プラス、リーの会交換研修(佐々木さん)、高橋さん親子(見学)、鳥山さん・北村さん(ボランティア希望)、明成高校実習(佐藤瀬菜さん)、就職活動案内(熊谷さん)、アドフォート、日本微生物研究所、小池メディカル(柴田さん)、セトヤサプライ、日本テクノ(安田さん)、ダスキン、まんさく工房、ホシザキ東北、今庄青果、マルキ水産、マルイ、サトー商会、鈴木米穀、ダスキン、大気堂(太田さん)、ヤクルト、共栄防災、シャープドキュメント(吉田さん)、バイタルネット

法人職員: 理事長、佐伯、小林、渡邊、三浦、高橋(毅)、飯田、加藤(彩)、押切、児玉、檜山、後藤、大累
 他多数 (以上、ご芳名順不同)

缶回収

6月の納品額

合計7,981 円でした。
 ご協力有難うございました。



編集後記

ついに梅雨明けが発表されましたね~。これから、本格的な夏の本番。
 みなさんは、夏と言えば、何を思い浮かべますか? 仙台つどいの家の夏のイベントと言えば、今年で3回目の開催となります、『夏まつり』です。利用者さん、職員一丸となり、準備に追われる日々を送っています(^_^)皆さんの、心に残る夏の思い出となりますように・・・夏まつり本番までがんばるぞ~!!
 たくさんのご来場、お待ちしております♪ (記: 庄子)